

Fw: 東北 Fan Meeting Vol.4



Fan Meeting

東北の学びを次につなぐ



関連
地域

宮城県仙台市
青森県弘前市



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



伝統と革新で 東北夏祭りを 新しい未来に繋ぐ職人魂

テーマ 事業承継・技術伝承

#東北夏祭り #仙台七夕 #弘前ねぶた #地域づくり #伝統と革新 #鳴海屋

日時

2020

8/6 (木)

19:00~21:00

場所

オンライン開催

※インターネット会議サービス
「Zoomウェビナー」に接続

(後日、申込された方に接続先の情報をメールいたします。)

参加費
無料

定員
50名

主催
復興庁

オンライン
で開催!

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

https://form.run/@fm-zoom-1595815963/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol4



◆ Fw:東北 ホームページ

https://www.fwthohoku.com/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol4



◆ フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/fwthohoku/>



伝統と革新で東北夏祭りを新しい未来に繋ぐ職人魂

日時 2020.8.6(木) 19:00～21:00 (開場 18:30) 場所 オンライン開催

企画趣旨

明治16年の創業以来、仙台の街と共にあり、長年七夕まつりを支えて来た鳴海屋紙商事株式会社。鳴海幸一郎氏は29歳で家業を継いでから、2009年に事業存続のためのM&A、2011年に東日本大震災、そして、今般のコロナ禍と多くの試練に直面して来ました。その都度、湧き上がるのは藩政時代から続く伝統を必ず次世代に繋ぐ、という職人魂です。

2011年、東日本大震災で甚大な被害に見舞われた際にも、仙台市内の小中学校・特別支援学校計185校、約8万8千人の児童生徒が一人一羽の折鶴を織り、繋いだ「鶴の吹き流し」は、仙台市民の復興への祈りと希望の象徴となりました。同社では、児童生徒達の想いと祈りを無駄にしないため、この吹き流しを再生紙『仙臺七夕祈織』として蘇らせました。背景にあるのは、先人達が仙台七夕の七つ飾りに秘めた思いを次世代に継承し、震災を絶対に風化させないという強い意志です。その経験が今、コロナ禍による戦後初めての仙台七夕まつりの中止という逆境からの反転攻勢を支えています。鳴海氏には、伝統を背負う立場から、次世代に繋ぐ上での革新の重要性、革新のために基礎を学ぶ事の大切さ等をお話頂きます。

トークセッションでは、同じく今年の開催が中止となった弘前ねぶた祭りから、弘前ねぶた参加団体協議会・中川俊一事務局長をお招きします。幼少期からねぶた祭りに深く関わり、実務から学術研究まで様々な角度から地域文化の継承と後進の育成に取り組んでおられる中川氏の最新の取組も紹介頂きながら、次世代と共に創っていく「未来の伝統文化」について、お二人と一緒に考えてみませんか。

登壇者 ※敬称略

◆ 鳴海 幸一郎 (鳴海屋紙商事株式会社 部長)

明治16年(1883年)創業の鳴海屋本店を29歳の時に承継し、15年間同社の代表を務めた後、平成21年、丁稚先であった現在の親会社とのM&Aを実現、今に至る。七夕事業部長として、年間数十カ所での講演やワークショップを通じて、地域の伝統や文化、郷土愛を次世代に伝えている。



◆ 中川 俊一 (弘前ねぶた参加団体協議会 事務局長/「みんなでつくろう!オンラインねぶた」実行委員会 委員長)

2015年より弘前ねぶた参加団体協議会事務局長に着任し、ねぶた文化の継承・発展に向けて国内外の地域間交流事業や後継者育成事業等を企画実施している。2020年、弘前ねぶたまつりが中止となったことを受け、「みんなでつくろう!オンラインねぶた」実行委員会の委員長として開催準備を進めている。



プログラム(予定)

18:30	開場 (参加者接続)
19:00	開会メッセージ／趣旨説明
19:10	インプットトーク① 鳴海屋紙商事株式会社 部長 鳴海 幸一郎 氏
19:30	インプットトーク② 弘前ねぶた参加団体協議会 事務局長／ 「みんなでつくろう!オンラインねぶた」 実行委員会 委員長 中川 俊一 氏
19:50	パネルディスカッションなど
20:10	アンケート記入
20:20	Fw:東北活動紹介
20:25	閉会メッセージ
20:30	オンライン上での交流タイム(～21:00)

こんな方にオススメ！

- ・自然災害等からの復興を支える地域主体の取組に関心がある方
- ・地域文化の継承に求められる伝統と革新の融合のあり方を考えてみたい方
- ・仙台七夕や弘前ねぶたのコロナ禍からの反転攻勢にまちづくりのあり方を学びたい方
- ・その他、本イベントに関心のある方 等

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、東北被災地における「新しい東北」の創造に向けた取組やそれらに取り組む人々にフォーカスし、認知向上や共創の輪の拡大及び東北の防災・減災、復興の経験値の共有を目指し、復興庁が主催する各種イベントを全国各地で多数展開(年間15回程度)いたします。

